

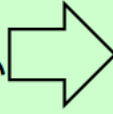
# 稲麦大豆を柱に基盤整備された農地を地域とともに有効利用 ～株式会社 明和農産～

## 経営体の概要

平成15年

基幹作物：水稲、小麦、大豆、ばれいしよ、キャベツ、はくさい

経営面積：29ha



平成28年

基幹作物等：水稲(主食用米、もち米)、小麦、大豆、ばれいしよ、キャベツ、はくさい

経営面積：106ha、もち加工：10,500kg 等

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

事業による、ほ場整備や用水の整備、ブロックローテーションの定着等により徐々に規模拡大を進めてきた。平成12年には、現社長が経営に参画し、平成15年には経営規模は29haとなった。その後も規模拡大を進め平成28年には106haとなった。このような中、家族労働では作業を円滑に進めるのが困難になりつつあったため、基幹従業員を雇用して経営の安定を図る目的で、平成28年3月に株式会社明和農産を設立した。

## 営農改善のポイント

### ①省力化・低コスト化の取組

防除、施肥は側条施肥や田植え同時施肥機を、本田防除や、麦大豆の除草剤散布・防除には乗用管理機を、畦畔除草は自走式草刈り機やトラクター用の草刈り機を導入し省力化を図っている。

コシヒカリと早生のもち品種で作期分散を図っている。

必要以上の機械導入は行わず、効率的な利用に努めている。

### ②単収・品質の向上につながる取組

水稲の品質安定のため色彩選別機を導入している。

以前は、細植え密植で品質の安定を図っていたが、米価の下落と規模拡大に伴い、労力や費用の面から現在は60株／坪で移植している。今後は45株／坪まで株数を減らして収量・品質の安定が図れるか検討する予定である。

### ③流通・販売の工夫

生産物の大半はJAに出荷しているが、家族が経営する直売所「サン」を通して、明和町へふるさと納税の寄付をされた方へ、お礼と特産品PRを兼ねた一品として、明和農産の米、とうもろこし、はくさい、キャベツ、ほうれんそうと、地域の生産者が生産する果実、野菜を組み合わせ、お届けしている。



明和農産の皆さん(右端が大西社長)



大豆収穫作業



もち加工作業

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：三重県伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町

受益面積：4,681ha

事業期間：平成7年～平成24年

事業目的：用水改良、畑地かんがい

主要工事：調整池1ヶ所、頭首工1ヶ所、導水路(改修)

15.4km、幹線用水路等23.8km、水管理施設 宮川用水第二期地区

## 位置図(三重県)



## <問い合わせ先>

東海農政局

農村振興部農村環境課

営農指導係

電話：052-223-4631

(平成28年度調査時点)